

科 目 名	肢体不自由教育【社福】					開 講 キャンパス	神 埼	
担 当 者	松 田 次 生							
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択	
授業の概要 及びねらい	本講座では肢体不自由児の教育について概説する。まず、肢体不自由の特性と肢体不自由教育の歴史、そして特別支援教育体制における肢体不自由教育の現状と教育課程について解説する。また、自立活動の現状と課題、重複障害児の教育、高等部の教育とその課題についての説明を行う。							
授 業 の 到 達 目 標	1) 肢体不自由の概念と特性について理解することができる。 2) 肢体不自由教育の歴史について説明することができる。 3) 肢体不自由教育を行う特別支援学校について現状を述べることができる。 4) 肢体不自由教育の教育課程について理解し、説明することができる。 5) 肢体不自由教育における自立活動について理解し、説明することができる。 6) 重複障害児の実態と教育について理解し、説明することができる。 7) 高等部の教育と卒業後の進路問題について理解することができる。 8) 肢体不自由教育と医療・福祉・労働の連携の必要性が分かる。							
学 習 方 法	講義、実技							
テキスト及び参考書等	「肢体不自由教育の基本とその展開」日本肢体不自由教育研究会監修（慶應義塾大学出版会）							
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%			
定期試験	◎	◎			80			
小テスト等								
宿題・授業外レポート			○		10			
授業態度			○					
受講者の発表								
授業への参加度			○		10			
その他								
合 計						100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
第 1 週	肢体不自由教育の歴史①－戦前の教育							
第 2 週	肢体不自由教育の歴史②－戦後の教育							
第 3 週	肢体不自由教育の実際①－肢体不自由児の学ぶ場							
第 4 週	肢体不自由教育の実際②－肢体不自由児特別支援学校における学校生活							
第 5 週	肢体不自由教育の教育課程①－肢体不自由特別支援学校における教育課程							
第 6 週	肢体不自由教育の教育課程②－重複障害者等に関する教育課程の取り扱い							
第 7 週	肢体不自由の種類・病因							
第 8 週	指導法①－身体の動きの指導							
第 9 週	指導法②－コミュニケーション(1)							
第 10 週	指導法③－コミュニケーション(2)							
第 11 週	指導法④－各教科の指導（肢体不自由児の学習における困難）							
第 12 週	指導法⑤－各教科の指導（国語科、算数・数学科、社会科、理科）							
第 13 週	指導法⑥－各教科の指導（美術科、音楽科、保健体育科、技術・家庭科、英語科）							
第 14 週	指導法⑦－重複障害児の指導							
第 15 週	新たな取り組みと今後の課題							
第 16 週	定期試験							
備 考	授業外学習（事前学習・事後学習）の指示：毎回「復習問題」を配るので次の時間までに必ずやっておくこと。							